



2019年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月5日

上場会社名 株式会社 薬王堂 上場取引所 東
 コード番号 3385 URL http://www.yakuodo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 西郷 辰弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 小笠原 康浩 (TEL) 019-697-8480
 定時株主総会開催予定日 2019年5月29日 配当支払開始予定日 2019年5月30日
 有価証券報告書提出予定日 2019年5月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期の連結業績(2018年3月1日~2019年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期	91,810	—	3,886	—	4,238	—	2,945	—
2018年2月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年2月期 2,944百万円(—%) 2018年2月期 -百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年2月期	149.21	—	16.2	11.1	4.2
2018年2月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2019年2月期 -百万円 2018年2月期 -百万円

(注) 2019年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期	40,981	19,462	47.5	985.93
2018年2月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2019年2月期 19,462百万円 2018年2月期 -百万円

(注) 2019年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期の数値については記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年2月期	3,783	△5,667	1,321	756
2018年2月期	—	—	—	—

(注) 2019年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2018年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00	394	—	—
2019年2月期	—	0.00	—	21.00	21.00	414	14.1	2.3
2020年2月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00	—	14.1	—

(注) 2019年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期の配当性向及び純資産配当率については掲載しておりません。

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,185	10.2	2,209	5.6	2,394	5.1	1,664	3.4	84.29
通期	101,700	10.8	4,071	4.7	4,438	4.7	3,090	4.9	156.53

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期	19,741,200株	2018年2月期	19,741,200株
② 期末自己株式数	2019年2月期	981株	2018年2月期	975株
③ 期中平均株式数	2019年2月期	19,740,223株	2018年2月期	19,740,225株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年2月期の個別業績（2018年3月1日～2019年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期	91,717	10.4	3,868	9.7	4,223	3.8	2,936	0.6
2018年2月期	83,100	10.9	3,527	10.8	4,071	16.0	2,918	25.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期	148.75	—
2018年2月期	147.84	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期	40,940	19,453	47.5	985.48
2018年2月期	35,451	16,912	47.7	856.77

(参考) 自己資本 2019年2月期 19,453百万円 2018年2月期 16,912百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2018年4月24日にマーケティング事業等を行う子会社「Medica株式会社」を新規設立いたしました。これにより、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10
4. その他	11
(1) 仕入及び販売の状況	11

1. 経営成績等の概況

当社は、2018年4月24日にマーケティング事業等を行う子会社「Medica株式会社」を新規設立いたしました。

これにより、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較については記載しておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の減速が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの営業基盤であります東北地方においても全般に持ち直しの動きがみられるものの、個人消費は横ばい圏で足踏み状態が続いており、依然として厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを岩手県6店舗、青森県6店舗、秋田県4店舗、宮城県5店舗、山形県4店舗、福島県2店舗の合計27店舗を新規出店いたしました。また、岩手県の100円ショップを退店し、当連結会計年度末の店舗数は265店舗（うち調剤併設型3店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は918億1千万円、営業利益は38億8千6百万円、経常利益は42億3千8百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は29億4千5百万円となりました。

主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

① ヘルス

医薬品は健康食品、感冒薬等が伸張り、衛生用品では介護用紙おむつ、生理用品等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同期比5.9%増加し、197億1千3百万円となりました。

② ビューティ

化粧品は基礎化粧品等が伸張り、トイレタリーではオーラルケア、ボディソープ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比8.7%増加し、152億9千1百万円となりました。

③ ホーム

日用品は衣料洗剤、家庭紙等が伸張り、衣料品では軽衣料、靴下等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比12.1%増加し、183億2千7百万円となりました。

④ フード

食品は飲料、菓子、日配品等が伸張り、酒類ではビール類、酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比12.7%増加し、383億8千4百万円となりました。

(注) 当連結会計年度から、前事業年度において「コンビニエンスケア」部門に分類しておりました「食品」「酒」について、「フード」部門として記載する方法に変更しております。なお、その他の「コンビニエンスケア」部門については、「ホーム」部門に組替えて記載しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、409億8千1百万円となりました。

流動資産は164億1千9百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金7億5千6百万円、商品134億8千3百万円等があります。

固定資産は245億6千2百万円となりました。主な内訳は、建物及び構築物169億6千万円、投資その他の資産42億5千2百万円等であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、215億1千8百万円となりました。

流動負債は168億5千7百万円となりました。主な内訳は、買掛金97億5千4百万円、1年内返済予定の長期借入金21億4千5百万円等であります。

固定負債は46億6千1百万円となりました。主な内訳は、長期借入金33億6千万円、資産除去債務11億6百万円等があります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、194億6千2百万円となりました。

主な内訳は、資本金10億8千万円、資本剰余金13億3千1百万円、利益剰余金170億5千1百万円等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7億5千6百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローとそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は37億8千3百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益が42億3千8百万円、減価償却費が19億5千8百万円ありましたが、たな卸資産の増加額が20億3千7百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は56億6千7百万円となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が47億8千8百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は13億2千1百万円となりました。これは、長期借入れによる収入が25億円、短期借入金の純増額が16億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が23億7千8百万円あったことや配当金の支払額が3億9千4百万円あったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しといたしましては、国内外の不安定な経済情勢の影響が懸念されるなど、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような中、当社グループは「地域の皆様の美と健康と豊かな暮らしに貢献する」ことを使命とし、日常生活に密着した品揃えの充実と低価格商品の販売強化を図りながら、「小商圈バラエティ型コンビニエンス・ドラッグストア」の展開を進めてまいります。次期は34店舗の新規出店を計画しており、東北エリアの一層のドミナント化を推進していきます。

また、キャッシュレス決済サービスの拡張によるお客様サービスの向上やA I 無人レジ実証実験などの新しい取り組みにも積極的に取り組んでまいります。前期より実施しているセルフ健康チェックも受検者数が増えており、地域の皆様の健康増進への貢献と、集積データを活用した新サービスの実現に取り組んでまいります。

2020年2月期の業績の見通しにつきましては、売上高1,017億円（前年同期比10.8%増）、営業利益40億7千1百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益44億3千8百万円（前年同期比4.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益30億9千万円（前年同期比4.9%増）を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在国内を中心に事業展開や資金調達を行っており、当面は日本基準を採用することとしております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

当連結会計年度
(2019年2月28日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	756
売掛金	437
商品	13,483
繰延税金資産	402
その他	1,338
貸倒引当金	△0
流動資産合計	16,419
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	27,014
減価償却累計額	△10,053
建物及び構築物（純額）	16,960
機械及び装置	218
減価償却累計額	△71
機械及び装置（純額）	147
工具、器具及び備品	3,529
減価償却累計額	△2,441
工具、器具及び備品（純額）	1,088
土地	686
リース資産	13
減価償却累計額	△9
リース資産（純額）	4
建設仮勘定	1,062
有形固定資産合計	19,950
無形固定資産	358
投資その他の資産	
投資有価証券	408
繰延税金資産	838
敷金及び保証金	2,604
その他	401
投資その他の資産合計	4,252
固定資産合計	24,562
資産合計	40,981

(単位：百万円)

当連結会計年度
(2019年2月28日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	9,754
短期借入金	1,600
1年内返済予定の長期借入金	2,145
未払法人税等	813
賞与引当金	436
ポイント引当金	369
店舗閉鎖損失引当金	71
その他	1,667
流動負債合計	16,857
固定負債	
長期借入金	3,360
資産除去債務	1,106
その他	194
固定負債合計	4,661
負債合計	21,518
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,080
資本剰余金	1,331
利益剰余金	17,051
自己株式	△0
株主資本合計	19,462
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	0
その他の包括利益累計額合計	0
純資産合計	19,462
負債純資産合計	40,981

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
売上高	91,810
売上原価	70,363
売上総利益	21,447
販売費及び一般管理費	
ポイント引当金繰入額	369
給料	5,537
賞与引当金繰入額	436
退職給付費用	79
賃借料	2,352
減価償却費	1,958
その他	6,825
販売費及び一般管理費合計	17,560
営業利益	3,886
営業外収益	
受取利息	25
受取事務手数料	132
固定資産受贈益	71
受取手数料	44
古紙売却収入	45
その他	50
営業外収益合計	369
営業外費用	
支払利息	14
その他	4
営業外費用合計	18
経常利益	4,238
税金等調整前当期純利益	4,238
法人税、住民税及び事業税	1,369
法人税等調整額	△76
法人税等合計	1,292
当期純利益	2,945
非支配株主に帰属する当期純利益	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,945

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	
当期純利益	2,945
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△0
その他の包括利益合計	△0
包括利益	2,944
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	2,944
非支配株主に係る包括利益	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080	1,331	14,500	△0	16,911
当期変動額					
剰余金の配当			△394		△394
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,945		2,945
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,550	△0	2,550
当期末残高	1,080	1,331	17,051	△0	19,462

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	0	0	16,912
当期変動額			
剰余金の配当			△394
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,945
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△0	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0	2,549
当期末残高	0	0	19,462

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	4,238
減価償却費	1,958
賞与引当金の増減額 (△は減少)	41
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	82
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△0
受取利息及び受取配当金	△25
支払利息	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△106
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,037
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,037
その他	△104
小計	5,099
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△14
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,788
無形固定資産の取得による支出	△162
投資有価証券の取得による支出	△400
敷金及び保証金の差入による支出	△269
その他	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,667
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,600
長期借入れによる収入	2,500
長期借入金の返済による支出	△2,378
配当金の支払額	△394
その他	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,321
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△562
現金及び現金同等物の期首残高	1,318
現金及び現金同等物の期末残高	756

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計年度において「Medica株式会社」を新規設立したことにより、同社を連結の範囲に含めておりません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
1株当たり純資産額	985円93銭
1株当たり当期純利益金額	149円21銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)
1株当たり当期純利益金額	
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,945
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,945
普通株式の期中平均株式数(株)	19,740,223
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれな かった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 仕入及び販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

① 仕入実績

当連結会計年度における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	2018年2月期 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)		2019年2月期 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	12,814	19.8	13,546	18.7	+5.7
ビューティ	10,479	16.2	11,396	15.8	+8.8
ホーム	13,166	20.3	15,290	21.1	+16.1
フード	28,282	43.7	32,091	44.4	+13.5
合計	64,742	100.0	72,325	100.0	+11.7

(注) 当連結会計年度から、前事業年度において「コンビニエンスケア」部門に分類しておりました「食品」「酒」について「フード」部門として記載する方法に変更しております。なお、その他の「コンビニエンスケア」部門については「ホーム」部門に組替えて記載しております。

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当連結会計年度における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	2018年2月期 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)		2019年2月期 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	18,606	22.4	19,713	21.5	+5.9
ビューティ	14,074	16.9	15,291	16.6	+8.7
ホーム	16,353	19.7	18,327	20.0	+12.1
フード	34,065	41.0	38,384	41.9	+12.7
合計	83,100	100.0	91,717	100.0	+10.4

(注) 当連結会計年度から、前事業年度において「コンビニエンスケア」部門に分類しておりました「食品」「酒」について「フード」部門として記載する方法に変更しております。なお、その他の「コンビニエンスケア」部門については「ホーム」部門に組替えて記載しております。

ロ. 地域別販売実績

当連結会計年度における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	2018年2月期 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)		2019年2月期 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青森県	10,216	12.3	11,989	13.0	+17.4
秋田県	9,713	11.7	10,967	12.0	+12.9
岩手県	34,514	41.5	36,765	40.1	+6.5
宮城県	21,997	26.5	23,565	25.7	+7.1
山形県	6,658	8.0	7,984	8.7	+19.9
福島県	—	—	445	0.5	—
合計	83,100	100.0	91,717	100.0	+10.4